

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp



独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

問合せ先：地熱部 佐伯 中澤 TEL:03-6758-8001
広報担当：総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

「平成 29 年度地熱資源開発研修」を開催 ～地熱資源開発に携わる人材を育成～

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)は、我が国の地熱資源開発に携わる人材を育成するため、「平成29年度地熱資源開発研修」を開催します。

先の東日本大震災を経験し、我が国においては、再生可能エネルギーに対する関心が高まってきており、地熱資源についても開発の動きが活発化しています。一方、地熱分野を扱う大学等の教育機関や、地熱開発を体系的に学ぶための中長期間の研修等が減少していることなどから、今後の地熱開発を担う若手技術者を養成する機会が望まれているところです。

そこで、JOGMECは、我が国の地熱資源開発に携わる人材の育成を目的として「平成29年度地熱資源開発研修」を実施します。

■ 概要(詳細は別添「平成29年度地熱資源開発研修 募集要項」をご参照ください。)

1. 開催時期

平成29年12月4日(月)～22日(金)

2. 開催場所

国際資源大学校 (秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館9番地3)

3. 研修内容

地質、地化学、物理探査、検層、掘削、貯留層工学、温泉科学、環境影響、地上設備、発電設備、経済性評価等の地熱開発に関する各分野の座学および地熱開発現場の見学

4. 研修対象者

入社後数年から10年程度の者で、地熱資源開発関連業務に従事し、または従事する予定のもの

5. 定員

30名程度(希望者が多数になる場合には、申込書の記載内容により調整させていただきます。)

6. 受講料

無料

平成 29 年 10 月 12 日

平成 29 年度 地熱資源開発研修 募集要項

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

先の東日本大震災を経験し、我が国においては、再生可能エネルギーに対する関心が高まってきており、地熱資源についても開発の動きが活発化しています。一方、地熱分野を扱う大学等の教育機関や、地熱開発を体系的に学ぶための中長期間の研修等が減少していることなどから、今後の地熱開発を担う若手技術者を養成する機会が望まれているところです。

このため、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)では、我が国の地熱資源開発に携わる人材の育成を目的として「平成 29 年度地熱資源開発研修」を実施します。

については下記の通り受講生を募集しますので、研修参加を希望される方は平成 29 年 10 月 31 日(火)までに、下記申込書受付先にご応募ください。

記

| | | |
|----|---------|--|
| 1 | 研修内容 | 地熱開発に必要な実践的な知識の取得、熟練技術者から若手技術者への技術の継承、若手技術者のネットワーク形成等を目的とし、次の分野等について研修する。 ・ 地質、地化学、物理探査、検層、掘削、貯留層工学、温泉科学、環境影響、地上設備、発電設備、経済性評価等の地熱開発に関する各分野の座学及び地熱開発現場の見学。 |
| 2 | 講師 | 政府系機関、大学、地熱資源開発関係企業等の学識経験者及び実務経験者 |
| 3 | 研修期間 | 平成 29 年 12 月 4 日(月)～12 月 22 日(金) |
| 4 | カリキュラム | 別添資料①参照。 |
| 5 | 研修場所 | 国際資源大学校(秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館 9 番地 3) |
| 6 | 宿泊場所 | ホテル小坂ゴールドパレス (秋田県鹿角郡小坂町小坂鉱山字古館 9 番地 3) 注:宿泊場所の手配は事務局が行います。ただし、滞在費(宿泊代、食事代等)は各自で清算願います。 |
| 7 | 定員 | 30 名程度 希望者が多数になる場合には、JOGMEC が申込書の記載内容により調整させていただきます。 |
| 8 | 対象者 | 入社後数年から 10 年程度の者で、地熱資源開発関連業務に従事し、または従事する予定のもの |
| 9 | 受講に必要な物 | Excel 計算のできる PC 等、現場の見学用の作業服、防寒具(安全靴、ヘルメットは不要) |
| 10 | 受講料 | 無料。ただし、次の費用については参加者にご負担いただきます。 ・ 帰赴任交通費、滞在費(宿泊代、食事代等)、地熱開発現場視察時の交通費、通信運搬費、国内旅行保険代 |

| | | |
|----|----------------|--|
| 11 | 申込期限 | 平成 29 年 10 月 31 日(火) |
| 12 | 受講確定通知 | 平成 29 年 11 月 7 日(火) |
| 13 | 申込書受付 お問合せ先 | <p>受講希望者は、別添資料②の申込書に必要事項を記入の上、以下に申し込んでください。</p> <p>独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 地熱部 担当：佐伯和宏、中澤良弘 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 1 号 Tel:03-6758-8001 Fax:03-6758-8087 E-mail:geothermal-info@jogmec.go.jp</p> |
| 14 | 事務局 | <p>本研修の実施にあたっては、その業務の一部を「一般財団法人国際資源開発研修センター」に委託することとしています。受講確定通知後、各研修参加者に対する各種連絡は、同センターから差し上げます。</p> |

<注意事項>

- ▶ Excel 表計算を用いたデータ処理演習・経済性評価演習等がありますので、必要なソフトウェアが使えるノートパソコン等を持参してください。
- ▶ 冬季の東北地方での研修となるため、防寒靴等の防寒対策をお願いします。また、あらかじめ、インフルエンザの予防接種を推奨します。
- ▶ 今後の本研修の充実化等のため、研修後のアンケート、ヒアリング等へのご協力をお願いします。

以 上

別添資料①

平成 29年度 地熱資源開発研修カリキュラム(予定)

| | | 午前 8:30～12:00 | 午後 13:00～16:30 |
|-----|----------|-----------------------|----------------|
| 第一週 | 12月4日 月 | ガイダンス/JOGMEC 技術開発 | 地熱資源調査 |
| | 12月5日 火 | 物理探査 2:重力探査 | 地熱エネルギー概論 |
| | 12月6日 水 | 地化学調査 | 物理探査 1:電気・電磁探査 |
| | 12月7日 木 | 地熱資源:全国のポテンシャル | 物理探査 3:弾性波探査 |
| | 12月8日 金 | 地熱地質学 | 坑井地質調査他 |
| | 12月9日 土 | | |
| | 12月10日 日 | | |
| 第二週 | 12月11日 月 | 坑井試験 | 坑井試験演習 |
| | 12月12日 火 | 貯留層工学 | 貯留層工学 |
| | 12月13日 水 | 掘削技術 1:概要・掘削機器 | 掘削技術 2:トラブル事例 |
| | 12月14日 木 | 検層技術/演習 | 坑井刺激/演習 |
| | 12月15日 金 | フィールドトリップ① | |
| | 12月16日 土 | | |
| | 12月17日 日 | | |
| 第三週 | 12月18日 月 | 温泉工学 | 環境影響調査 |
| | 12月19日 火 | 蒸気生産地上設備 | 発電設備 |
| | 12月20日 水 | 経済性評価 | 発電設備保守管理 |
| | 12月21日 木 | 蒸気生産設備保守管理 | 経済性波及効果 |
| | 12月22日 金 | フィールドトリップ②(盛岡駅にて解散予定) | |

別添資料②

受付番号

平成 29 年度 地熱資源開発研修 申込書

平成 29 年 10 月 日受講者

| 氏名 | 所属 | 最終学歴 | 入社 経過 年 | 年齢 性別 | 連絡先 |
|--------|-----------------------|------------------|---------------|----------|----------|
| (フリガナ) | 社名・所属部署名 | 学校 | | 年齢 | 電話番号(携帯) |
| (漢字) | 所在地 〒 住所 連絡先 | 専攻 卒業西暦年次 | 年 | 性別 | E-mail |

受講者・会社が抱える問題点・課題等

本研修に期待する項目

研修ご担当者様ご連絡先

| | |
|-------------|----------------------------|
| 御社名・ 御所属 | |
| 御役職・ 御氏名 | |
| 連絡先 | 住所 Tel Fax E-mail |

受講申込先

〒105-0001

東京都港区虎ノ門二丁目 10 番 1 号
(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構
地熱部 担当:佐伯和宏、中澤良弘

Tel:03-6758-8001 Fax:03-6758-8087

E-mail:geothermal-info@jogmec.go.jp